



「がんばれ! 神奈フィル」  
ブルーダル基金  
ブルーダルは神奈フィルの応援マスコットです。

プレリュード [No.001]

プレリュード—神奈川フィル未来への前奏曲

PAGE 1

2011年12月23日発行  
発行・企画編集=神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局  
発行人・編集人=大石修治  
231-0004 横浜市中区元浜町2-13東照ビル3階  
電話 045-226-5045

創刊号

# Prelude

2011  
12|23 金

Published by KANAGAWA PHILHARMONIC ORCHESTRA © 2011

## 創刊にあたって

神奈川フィルは、  
神奈川の文化的シンボルとして、  
40年に亘って音楽の素晴らしさを  
伝える活動を続けてまいりました。  
しかしながら現在、  
楽団は多額の債務超過を抱え、  
公益法人制度改革を前に  
存続の危機というべき状況にあります。  
こうした中、県知事を応援団長に  
「がんばれ! 神奈フィル 応援団」が  
結成され、「ブルーダル基金」を通じて、  
多くの法人・個人の皆様方からの  
暖かいご支援を頂いております。  
しかし、目標到達までには未だに  
険しい道のりが残されています。  
そこで、このたび神奈川フィルに  
ついての情報を、より多くの方に、  
わかりやすくお届けするために、  
情報紙を創刊する運びとなりました。  
紙名の「プレリュード(前奏曲)」には、  
神奈川フィルがこの危機を乗り越えて、  
未来に向けて力強く前進していく  
という決意が込められています。  
これからも音楽文化の種まきを通じて、  
人々の心が豊かになり、  
生きる力へと繋げていきたい。  
そんな想いをオーケストラの奏でる  
ハーモニーとともに  
「プレリュード」にて伝えてまいります。  
どうか皆様のさらなる応援を  
よろしくお願い申し上げます。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
専務理事 大石修治

## 神奈川フィルが消える寸前の危機だ、 ということを知ってもらいたい。

インタビュー

「がんばれ! 神奈フィル 応援団」団長  
黒岩祐治 神奈川県知事



### 「本物」は人を 惹きつける

私が知事になって半年ほどになりますが、神奈川フィルのコンサートを何度か聞いて、レベルの高さに驚きました。指揮者の金聖響さんも素晴らしいし、ソロ・コンサートマスターの石田さんの技術も凄く、個性的。知事として神奈川フィルの応援団長を引き継がせて頂きましたが、応援する甲斐があるし、可能性をすごく感じています。私は知事になるにあたって「いのち輝く マグネット神奈川」というメッセージを掲げてきました。マグネット(磁石)のように人を惹きつける力を持つには、やっぱり本物かどうか大事です。つまり、コンテンツの力がどれだけあるか。これがなければ、いくら皆で応援して、周りだけヒートアップしても仕方がないと思います。神奈川フィルにはコンテンツ力がある。ですから、我々がこの力を外に向けて発信して、惹きつける核にしたいと本当に思いました。

### ひとりひとりの個性を 活かしていきたい

マグネットというのは、そこにわざわざやって来なくなるということです。神奈川フィルを聴きたいということがまずあって、そのために神奈川にやって来る、そういう流れにしたい。世界的に見ても、例えばオーストリアのウィーン、というだけでも、そられる感じ、惹かれる感じがありますよね。

それがまさにマグネットです。マグネットになるためには個性が大事です。神奈川フィルのメンバーひとりひとりには個性があるし、いろんなものを持っている。その個性を活かしながら、教育、医療、福祉など、さまざまな分野と交流する形を作って、可能性を広げていきたいと思っています。そして、みんなに「神奈川フィルは自分たちの財産だ」という感覚を持ってほしい。理念だけで「応援しなければいけない」というのではなくて、自分の手ざわり感覚と経験の中から「これは私たちの財産だから守っていかうじゃないか」という機運を高めていきたいと思っています。

### 本当の危機意識から 再生が始まる

「再生」は私の中で大きなテーマです。「企業が再生する」、「まちが再生する」、そういう事例を数多く検証してきました。その結果気づいたことは、再生に向かうために一番大事なことは、みんなの気持ちが一いつになること。そのためには、本当の危機意識に立てるかどうかがです。そうでないと中でいろいろなベクトルが動いて、再生に向かうことが難しい。本当の危機意識に立っているときは、みんなひとつになれるものです。「もうつぶれるよ」「なくなっちゃうよ」という意識がみんなに共有されて初めて、本当の再生モードに入れるのだと思います。つまり、本気になるということです。そして神奈川フィルにこれから、どんな事ができるのか。神奈川フィルの皆さんは、本当の危機感を持ってこれを考えなければいけない。自分たちのファンを一人でも増やすために、本気になってもらわなければいけないと思います。

## まずは一回 聴いてほしい

県民のみなさんには神奈川フィルの魅力を伝えるとともに、本当の危機だということ伝えていきたいと思っています。「応援して何とかみんなで支えましょう」と言うだけではなく、現実に神奈川フィルが消える寸前の危機だ、ということを知ってもらいたい。そして、自分たちが素晴らしい財産を持っていることを理解し、認知してもらうためにも、まずは一回聴いてほしい。そして、その神奈川フィルが危機に瀕しているという現実を受け止めて、それをどう思うか。黙って見過ごしていいのか、つぶしていいと思うのか、これを皆さんに問いかけて、訴えていきたいと思っています。

### 2012年、新たなる創造へ



マーラーとその時代  
— 爛熟のウィーンへの旅 —  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
2012-2013 定期演奏会

神奈川フィルは常任指揮者・金聖響とともに、グスタフ・マーラーの燦爛たる交響曲の世界を旅してきました。2012年4月からの新シーズンでは、マーラーが活躍したウィーンに焦点を当て、その時代を立体的に描き出します。ウィーンが懐胎した薫り高き名作を巡る旅へと、ご一緒に出かけましょう。

会場：横浜みなとみらいホール

- 4月20日 [金] 指揮=金 聖響  
マーラー=交響曲「大地の歌」他
- 5月25日 [金] 指揮=現田茂夫  
ワーグナー=楽劇「ニーベルングの指環」管弦楽曲抜粋 他
- 6月22日 [金] 指揮=金 聖響  
R.シュトラウス=交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」他
- 9月15日 [土] 指揮=伊藤 翔  
ブラームス=交響曲第2番 他
- 10月12日 [金] 指揮=キンポー・イシイ=エトウ  
ブラームス=ヴァイオリン協奏曲 他
- 11月23日 [金・祝] 指揮=金 聖響  
R.シュトラウス=交響詩「英雄の生涯」他
- 2013年1月25日 [金] 指揮=下野竜也  
ブラームス(シェーンベルク編曲)=ピアノ四重奏曲第1番 他
- 2月15日 [金] 指揮=金 聖響  
マーラー=交響曲第10番(デリック・クック補筆完成版)
- 3月2日 [土] 指揮=金 聖響  
ラフマニノフ=交響曲第2番 他

※お問い合わせ先は、裏面をご覧ください。

グスタフ・クリムト(1862~1918)の代表作「接吻」(1908年)は、爛熟したウィーンの時代の空気を象徴する作品で、同時代のマーラーともしばしば対比される。